

ワークショップ1

「食道癌狭窄・穿孔の治療—バイパス手術とステント挿入—」

W1

司会：藤 也寸志（国立病院機構九州がんセンター 消化器外科）
加藤 広行（獨協医科大学 第一外科学）

- W1-1 切除不能悪性食道狭窄に対する食道バイパス術とステント挿入の適応と課題
鍋谷 圭宏（千葉県がんセンター 消化器外科）
- W1-2 当院における食道バイパス術および食道・気管ステント挿入例の検討
江頭 明典（独立行政法人 国立病院機構 九州がんセンター 消化器外科）
- W1-3 悪性食道狭窄に対する Niti-S 食道用ステントの治療成績
隅田 頼信（九州医療センター 消化器科 臨床研究センター）
- W1-4 狭窄や瘻孔形成を伴う高度進行食道癌に対する治療選択
百目木 泰（獨協医科大学 第一外科）
- W1-5 食道癌狭窄症例（切除不能食道癌）に対する Y 字胃管バイパス術
石黒 秀行（名古屋市立大学 消化器外科）
- W1-6 当院における食道ステント挿入術の現況
木村 聡大（がん・感染症センター 都立駒込病院 食道外科）
- W1-7 他臓器浸潤食道癌に対するステント療法 —気管および大動脈ステントについて—
山辻 知樹（川崎医科大学 総合外科学）
- W1-8 集学的治療としての食道バイパス手術～過去 67 例の検討
藤原 尚志（がん・感染症センター都立駒込病院 食道外科）
- W1-9 当科におけるステント治療の検討
中嶋 雄高（東京医科歯科大学 医学部 食道外科）
- W1-10 進行食道癌における Self-Expandable Metallic Stent 留置の有効性と注意点
葉梨 智子（東海大学東京病院 外科）

ワークショップ2

「食道癌術後合併症の診断と治療—新しい工夫—」

W2

司会：夏越 祥次（鹿児島大学 腫瘍制御学・消化器外科学）
猶本 良夫（川崎医科大学 総合外科学）

- W2-1 食道癌術後胃食道逆流に対する新規治療法の開発
山崎 誠（大阪大学大学院 消化器外科）
- W2-2 食道癌術後肺炎の内在性病原菌に関する検討
神保 敬一（東京大学 医学部附属病院 胃食道・乳腺内分泌外科）
- W2-3 食道癌術後肺合併症に対するリスク評価（E-PASSの有用性について）
兼清 信介（山口大学 医学部 消化器・腫瘍外科）
- W2-4 食道がん周術期管理チームの導入による術後合併症軽減の試み
渡邊 雅之（がん研有明病院 消化器外科）
- W2-5 食道癌術後合併症の低減を目的とした術中反回神経モニタリングと神経機能温存予測
日景 允（東北大学病院 移植再建内視鏡外科）
- W2-6 当院における食道切除術後の合併症診断（吻合部）に関わる診断と管理・治療
西川 勝則（東京慈恵会医科大学 消化管外科）
- W2-7 食道癌術後縫合不全時の低侵襲な内視鏡的治療の工夫
牧野 浩司（日本医科大学多摩永山病院外科）
- W2-8 縫合不全に対する経皮経瘻孔ドレナージの有用性
金森 淳（国立がん研究センター東病院 食道外科）
- W2-9 食道癌術後乳糜胸に対するリピオドールリンパ管造影を軸とした治療戦略
安部 哲也（愛知県がんセンター中央病院 消化器外科）

ワークショップ3

「食道運動障害の診療—新しい診断法と最も有効な治療について—」

W3

司会：草野 元康（群馬大学医学部附属病院 光学医療診療部）
丹黒 章（徳島大学大学院 胸部・内分泌・腫瘍外科学）

- W3-1 シカゴ分類第3版に基づいた高解像度食道内圧測定による食道運動障害の診断
正岡 建洋（慶應義塾大学 医学部 内科学（消化器））
- W3-2 Esophageal spastic disorder の臨床像および治療経過に関する検討
眞部 紀明（川崎医科大学 検査診断学（内視鏡・超音波））
- W3-3 アカラシア患者の食道運動機能と食道クリアランス能の相関性
山本 世怜（東京慈恵会医科大学 消化管外科）
- W3-4 アカラシアの一次蠕動波障害は可逆的な場合があり、本態はLESの弛緩不全のみである
保坂 浩子（群馬大学医学部附属病院 消化器内科）
- W3-5 食道運動機能異常症に対するEUSガイドによる腹腔鏡下long myotomyとDor fundplication
上野 太輔（川崎医科大学 消化器外科）
- W3-6 食道アカラシアに対する手術療法の治療成績
本城 裕章（群馬大学 医学部 病態総合外科）
- W3-7 アカラシアに対する腹腔鏡下手術の成績と問題点：直線型とシグモイド型の比較
片田 夏也（北里大学 外科）
- W3-8 食道アカラシアおよびその類縁疾患に対するPOEMの臨床経験 100例の臨床経験をもとに
塩飽 洋生（福岡大学 消化器外科）